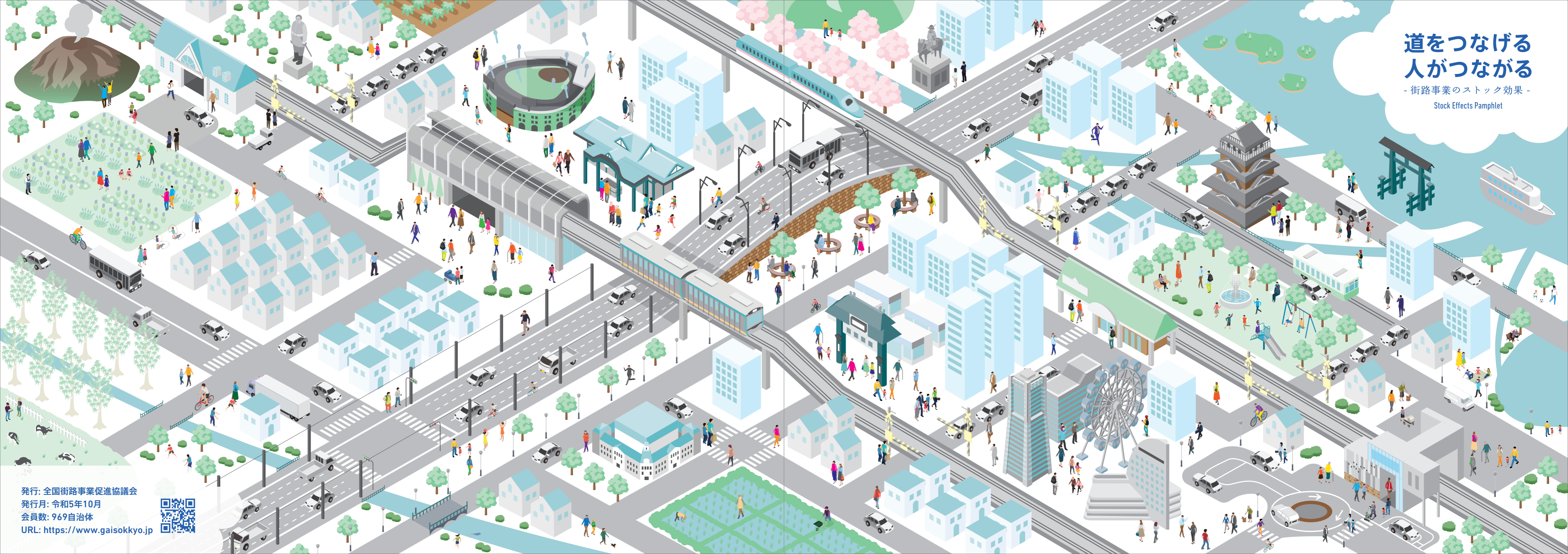


# 道をつなげる 人がつながる

- 街路事業のストック効果 -

Stock Effects Pamphlet



発行: 全国街路事業促進協議会

発行月: 令和5年10月

会員数: 969自治体

URL: <https://www.gaisokkyo.jp>



## ストック効果

継続的に、幅広く、中長期にわたって得られる効果

### 生活の質の向上効果

-主な効果事例-

交通渋滞、踏切遮断、踏切事故の解消  
生活圏の拡大  
生活環境の向上



### 安全・安心効果

-主な効果事例-

災害時の代替え機能の確保  
周辺道路における交通量の減少  
歩行者の安全性向上



### 生産性向上効果

-主な効果事例-

駅利用者の増加  
企業立地件数の増加  
周辺地域の地価上昇





# 移動だけじゃない。 新しい駅周辺には 心地よい流れが出来ました。

平面交差により阻害されていた安全で円滑な交通。  
道路と鉄道との立体交差化を行うことで、  
スムーズな交通の流れが生まれ、  
高架下利用により新たな活動拠点が生まれました。



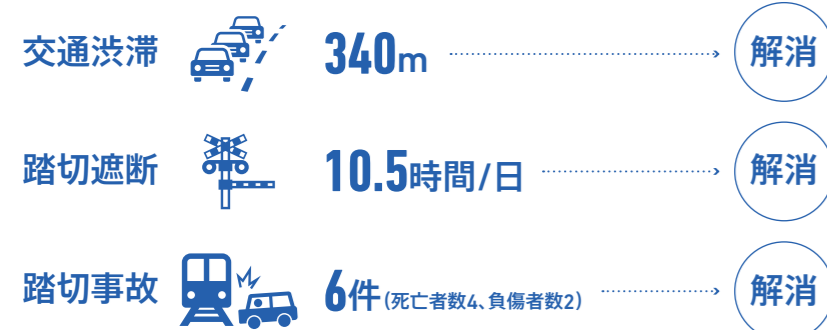
## 事業概要

事業名称：阪神電鉄本線鳴尾駅付近連続立体交差事業  
事業箇所：兵庫県西宮市  
事業延長：約1.9km  
事業費：約297億円  
事業期間：平成12年～平成30年  
第35回 全国街路事業コンクール 国土交通大臣賞受賞



## 事業効果

### 無くなった 交通渋滞と踏切遮断



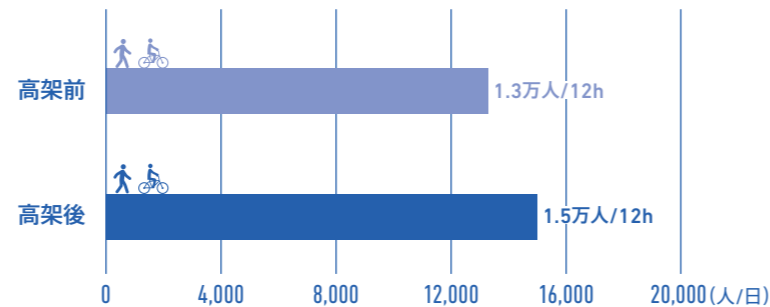
本整備に伴い6つの踏切除却及び新たな側道・交差道路整備を実施したことにより、地域の主要路線である(都)小曽根線の交通渋滞の解消及び自動車の平均速度の向上のほか、踏切による遮断踏切事故が解消され、地域住民の生活の質の向上に繋がりました。



### 南北地域の一体化による生活圏の拡大



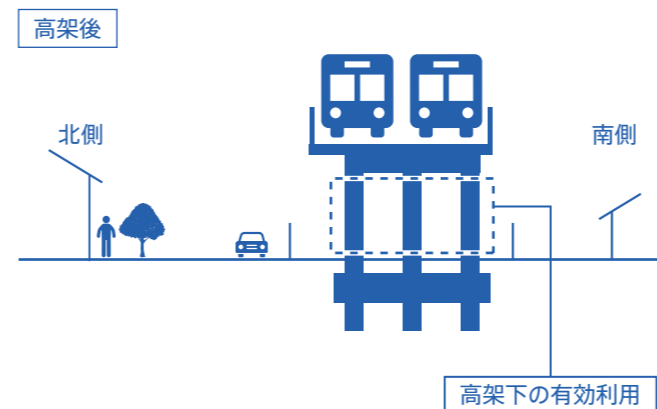
### 通過交通量が約1.2倍に増加



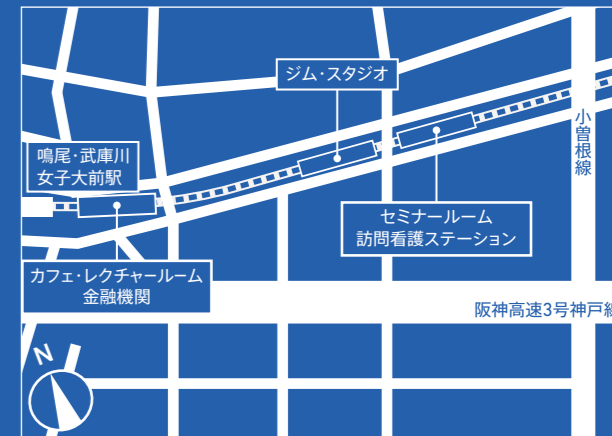
線路により南北に分断されていた市街地が、連続立体交差事業により車両及び歩行者の行き来が可能となり、南北の地域が一体化され生活圏の拡大に繋がりました。

### 地域との連携による 生活環境の向上

近隣大学の武庫川女子大学と阪神電気鉄道(株)が包括連携協定を締結し、高架下空間に「日本初」となる本格的な大学施設が進出したほか、民間企業や地域住民が利用できる健康維持、増進ゾーンの整備など有効的に高架下を利用しています。



### 踏切の撤去で 車や人、そして まちが動きだす。



本事業は、兵庫県西宮市内の阪神電鉄本線鳴尾・武庫川女子大前駅(※2019年10月1日に名称変更)付近において、道路と鉄道との立体交差化を行うことで、平面交差により阻害されていた当地域の安全で円滑な交通を確保するとともに、沿線の生活環境の向上や都市機能の回復を図るため、兵庫県が事業主体となり、平成12年度から平成30年度までの事業期間と約297億円の事業費をかけて実施したものです。  
この事業では、阪神電気鉄道本線の鳴尾・武庫川女子大前駅を含む、甲子園駅から武庫川駅までの区間約1.9kmの鉄道高架化による6箇所の踏切除却及び、鉄道の関連側道5路線と交差道路9路線の整備を実施しています。  
本事業の高架下利用では日本初となる大学施設の進出など、有効的な高架下利用を実施しており、地域と共生するまちづくりをコンセプトに整備を進めました。

### 大学・地域・企業を繋げる





CASE02

都市計画道路元寺小路福室線（宮城野橋工区）街路事業

生活の質の向上効果 | 安全・安心効果 | 生産性向上効果

# 安全がいちばん。 人もクルマも自転車も、 安心できる道が繋がりました。

仙台の東西を結ぶ約100年の歴史ある宮城野橋。

仙台市の東西を結ぶ道路の強化により

東西地域における連絡機能の強化や

歩行者の利便性・安全性向上に繋がりました。



## 事業概要

事業名称：都市計画道路元寺小路福室線（宮城野橋工区）街路事業

事業箇所：宮城県仙台市

事業延長：393.5m（橋梁区間L=193.0m）

幅員：34.3~63.0m（橋梁区間W=34.3m）

事業費：約62億円

事業期間：平成22年～平成29年

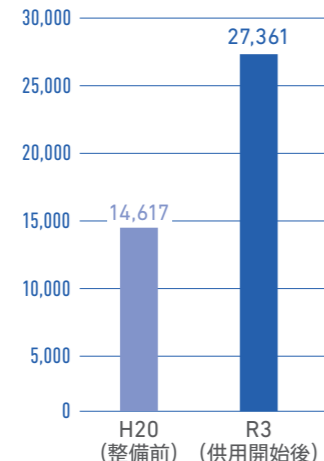
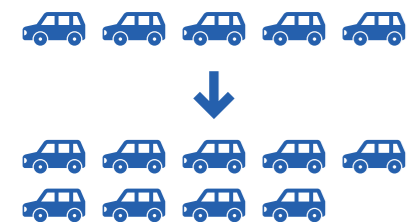
第31回 全国街路事業コンクール 全国街路事業促進協議会 会長賞受賞



## 東西交通のリダンダンシーの確保

約**1.87**倍 

自動車交通量の推移(台/12h)



宮城野橋の橋梁掛け替えに伴い、整備前は2車線であった道路を6車線化したことにより、鉄道施設を横断する仙台市の東西連絡機能が強化され、自動車交通量が約1.9倍に増加しました。また、本整備路線は緊急輸送道路に指定されていることから、災害時等の代替機能の強化にも繋がりました。

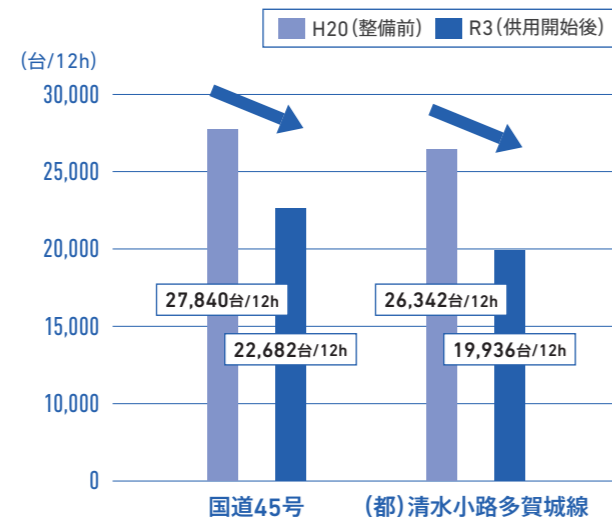


## 交通分散と安全確保に貢献

本整備により、仙台市中心部における交通の分散が図られ、周辺幹線道路(国道45号、(都)清水小路多賀城線)の渋滞緩和と安全の確保に繋がりました。

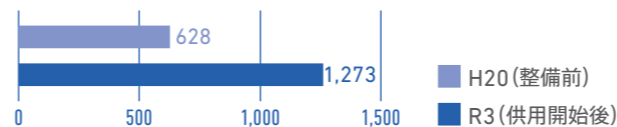
自動車交通量平均 

約**0.79**倍 



## 安全な道となり歩行者が増えました

歩行者の推移(人/12h)



安心安全な歩道空間の整備により人と車両の分離が図られ、安全性や利便性、回遊性が向上したほか、エレベーターの新設によるバリアフリー化も図られ、通行する歩行者が整備前に比べ2倍以上に増加しました。



## 地域の意見を取り入れ、親しみやすい街並みができました



## 歴史と現代をつなぐ 仙台の架け橋



(都)元寺小路福室線は、仙台市中心部と東部の工業・流通地域を結ぶ延長8.24kmの重要な骨格幹線道路であり、その一部を担う宮城野橋は、鉄道を跨ぎ仙台の東西を結ぶとともに、その形状よりX(エックス)橋の愛称で古くから市民に親しまれてきました。

本事業は、歩道がなく片側1車線であった宮城野橋と、橋に架かるペDESTリアンデッキを架け替えたものです。

新幹線と在来線の上下間に挟まれ、かつ商業ビル等が密集した都市部の現場制約や、東北一の列車運行に対する作業時間制約の中、施工工夫により工期短縮や交通規制見直しを行い、地域への影響を抑えながら竣工しました。

事業を進めるにあたっては、地域の意見を踏まえ、旧橋の石材の利活用や、レンガタイル張の景観配慮、Xのデザイン照明灯等を取り入れ、地元主体で完成式典が催される等、東西地域が一体となる地域交流や賑わいが創出され、X橋の約100年の歴史と現代を繋ぐ大きな架け橋として生まれ変わりました。



CASE03

天竜川駅橋上化事業

生活の質の向上効果 | 安全・安心効果 | 生産性向上効果

# 近くて便利な 駅利用をすべての人に。 そんな駅に生まれ変わりました。

1日あたりの乗降客数5,000人を超える市内で乗降客数の多い天竜川駅。

限定的だった駅利用が、  
南北自由通路や南北駅前広場の整備を行い、  
駅のアクセス機能や交通結節拠点機能が強化されました。



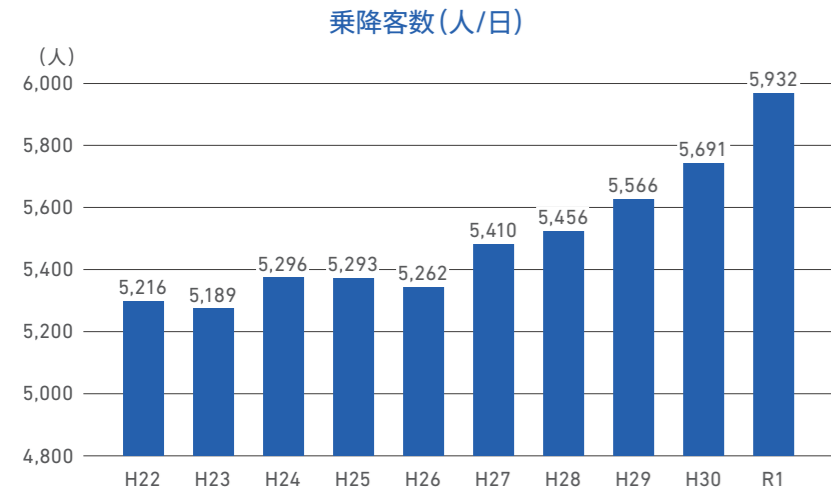
**事業概要**

事業名称：天竜川駅橋上化事業  
事業箇所：静岡県浜松市  
事業延長：自由通路 L=0.09 km  
幅員：自由通路 W=4m  
面積：駅北口駅前広場 A=4,700㎡ 駅南口駅前広場 A=2,300㎡  
事業費：約39億円  
事業期間：平成26年~令和2年  
第34回全国街路事業コンクール 全国街路事業促進協議会 優秀賞受賞



# 事業効果

## 南も北も駅利用が快適に



天竜川駅の橋上化(自由通路整備)及び南北の駅前広場整備に加え、エレベーター設置や音声案内による施設のバリアフリー化により、従来よりも利用しやすい駅となり、1日あたりの乗降客数が増加しました。



## 南口も北口も、人も車も、スムーズに



南北自由通路南口



エレベーターの設置

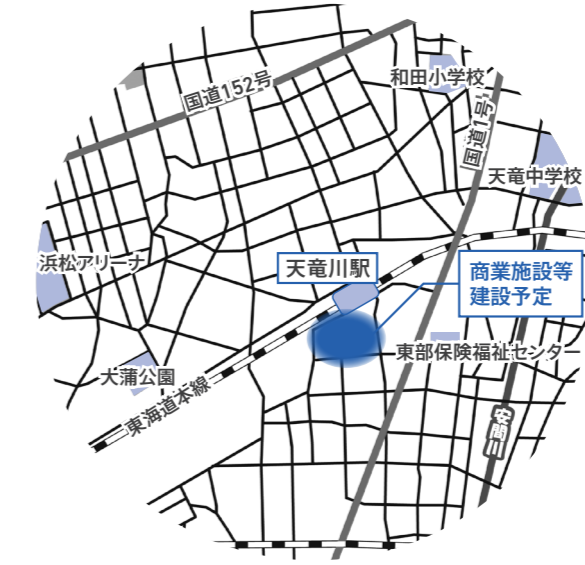


音声案内の設置

## 駅周辺の開発を促進

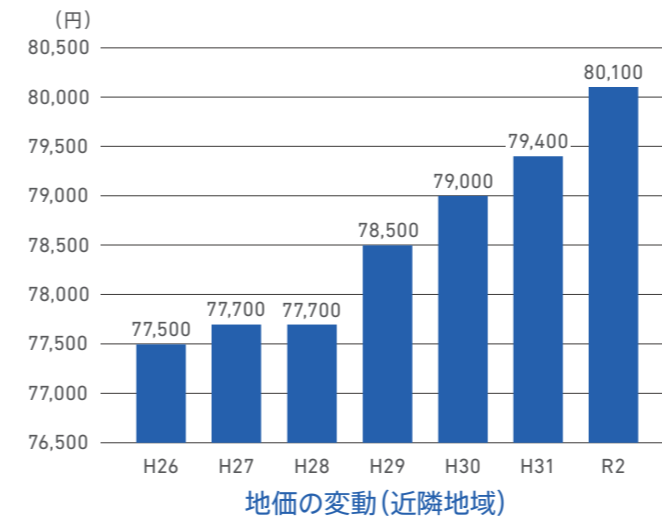
駅南側の道路整備と一体的に事業を行ったことによって、商業施設等の立地が進み、駅周辺の再開発を促進しました。

### 企業立地件数 (商業施設等)



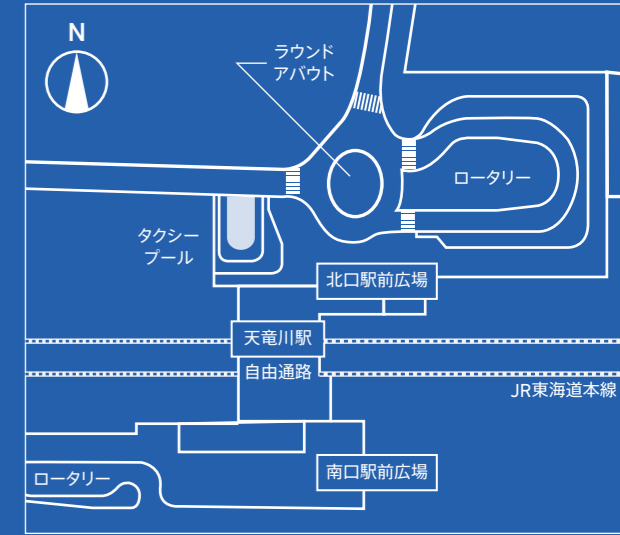
## 素敵なまち。そして、価値もあるまちへ

駅周辺の拠点機能の向上を図るため、自由通路を整備することで駅南の民間開発が促進された結果、周辺土地の価値が上昇しました。



南口駅前広場の整備状況

# 南北がつながった 地域の交通結節拠点



本事業は、JR浜松駅から東方向約4kmに位置する天竜川駅において、駅の橋上化事業等を実施したものです。

当駅は、1日あたりの乗降客数5,000人を超える市内でも乗降客数の多い駅であり、「高齢者・障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づき、駅のバリアフリー化が必要な駅でありました。

また、当地区は、鉄道により南北に分断されており、駅利用は地上駅舎のある北口に限定されていたことから、駅利用の利便性・安全性の向上が求められていました。

そこで、駅の橋上化事業及びバリアフリー化事業に合わせ、南北自由通路を整備するとともに、駅周辺のJR及びJR貨物の敷地を利用した駅南口駅前広場など、南北の駅前広場を整備しました。

これにより、南北の地域から駅利用が可能になるとともに、駅前広場の整備により利便性が向上し、駅のアクセス機能や交通結節拠点機能の強化が図られました。